

2025 年度沖縄県医師会臨床検査精度管理調査を終えて

2025 年度事業報告並びに今年度の取り組み検討事項報告

1. 2025 年度事業

【全体的講評】

今年度は沖縄県内の 79 施設が参加し、全 9 部門の 59 項目にわたり実施しました。本調査の結果、県全体として安定した検査品質が維持されており、高い技術水準が確認されました。一方で、一部の検査項目におけるヒューマンエラー（白血球数の桁数の入力ミスなど）や、測定環境・試薬に起因する結果の逸脱、基礎的な知識の再確認が必要な事例も散見されました。

【評価対象外について】

① 事後的な正答率の低さや設問の不備等で評価対象外となったもの

一部の分野・項目では、正答率が著しく低い設問（正解率 80%未満など日臨技の指針を満たさないもの等）があり、全体として計 3 問（生理、一般、細胞）が評価対象外となりました。実行委員でも今後の適切な設問作成に活かしていきたいと考えております。ただ、一部には適正な検査結果を得るための基本項目（心電図のアーチファクト確認など）でも正答率が悪いものがありましたので、報告会などを通じて注意喚起を行っております。

② 試料の不具合等で評価対象外となったもの

生化学検査部門の酵素項目である CK（クレアチンキナーゼ）の試料 2（高濃度試料）については、昨年度の調査においても結果の乖離が確認されておりました。これまで精度管理試料を運搬する際の保管温度の影響などを検討してまいりましたが、今回の調査における解析委員の検証により「室内散乱光」による活性値低下の影響が高いと示唆されたため、本年度につきましても評価対象外といたしました。次年度において適正な調査が実施できるように引き続き原因究明と対策を検討してまいります。

③ 最初から「教育問題・教育症例」として対象外としたもの

計 7 問（一般、細胞、輸血）を設定いたしましたが、1 問を除いて正答率は概ね良好でした。正答率が著しく低かった設問は、細胞の判別が困難であったため、不適切問題と判断いたしました。

2. 2026 年度事業

- ① 2025 年度では、一部の設問において出題側の不備や難易度の設定に課題が見られた。この件に関しては、それぞれの部門の実行委員と解析委員で検討し、良質な設問作成に細心の注意を払っていく。
- ② 2025 年度の調査で明らかになった CK における「室内散乱光の影響」という課題に対して、今年度は調査資料の遮光対策の強化や、発送・保管時における取扱い手順の見直しなどを図ります。沖縄県内の全ての参加施設へ品質の安定した試料を確実にお届けし、CK において適正かつ信頼性の高い精度評価が実施できるようにします。
- ③ 桁数の入力ミスや転記ミス等のヒューマンエラーが依然として散見されている。手引書等でダブルチェック体制の構築などの防止策の徹底を参加施設に強く呼びかけていきます。